シルバーで 知恵の輪 人の輪 社会の輪

シルバー えひめ

「自主・自立」「共働・共助」

2023.3/No.33

第十二回定時総会を開催 (P1)
令和3年度安全就業優良センター等を決定 (P1-2)
令和4年度安全就業スローガン (P2)
「シルバーの日」活動記・センターだより (P3-9)
高齢者向けセミナーの開催について (P9)
技能講習会の開催について (P10)
令和4年度安全就業推進大会を開催 (P11)
センター会員出演のテレビCM (P12)
会員の広場 (P13)
賛助会員のみなさん・編集後記 (P14)

元亀くん

公益社団法人 愛媛県シルバー人材センター連合会

第十二回定時総会を開催

令和3年度事業報告(案)など三議案を原案どおり可決

当連合会では、第12回定時総会を令和4年6月17日(金)、東京第一ホテル松山「コスモゴールド」(松山市)において開催しました。

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止に配慮しての総会となりました。大塚理事長を議長に選出し、審議の結果、すべての議案が原案どおり可決承認されました。

また、2名の理事が退任されることに伴い、役員の選任が行われ、新たに2名の理事の方々が選任されました。

次の議案について審議を行い、すべて原案どおり可決されました。

■議事

- **第一号議案**
  令和3年度事業報告(案)の承認について
- **第二号議案**
  「令和3年度正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録」(案)の承認並びに監事監査報告について
- **第三号議案**
  理事の選任について

新役員の紹介

このたびの定時総会において次の方々が当連合会の新たな役員として選任されました。(敬称略)

理　事
岡田 勝利
(今治市 理事長)

理　事
向井 利忠
(伊予市 理事長)

令和3年度 安全就業優良センター等を決定

当連合会では、令和4年5月30日(月)に開催した第1回安全・適正就業対策推進協議会において令和3年度の実績により安全就業優良センター等を決定しました。次のセンター及び会員の方々が受賞され、受賞されたセンター等には、令和5年2月22日(水)に開催した安全就業推進大会で表彰状と記念品をお贈りしました。

部門別表彰

① 植木剪定作業部門
新居浜市SC、砥部町SC

② 除草作業部門
松前町SC

③ 途上事故無事故部門
八幡浜市・西条市・伊予市・西予市・大洲市・東温市・久万高原町・砥部町・内子町・伊方町・愛南町、鬼北町の各SC

④個人部門表彰（敬称略）

白石昭雄、西原幹男、白石陽子（以上 松山市ＳＣ）、真部康幸、八木忠重、小藪常友（以上 今治市ＳＣ）、武田久志、門田勇介（以上 宇和島市ＳＣ）、山田満男、堀江初枝（以上 八幡浜市ＳＣ）、大西イク子、寺門宣之、横道セツ子（以上 新居浜市ＳＣ）、青野健一、大西貞雄、大西千代子（以上 西条市ＳＣ）、北條真栄、伴野敬治、石村宣子（以上 四国中央市ＳＣ）、大塚順一、菊池力（以上 西予市ＳＣ）、椿本繁徳（大洲市ＳＣ）、前嶋妃佐子（東温市ＳＣ）、坂本一孝（久万高原町ＳＣ）、大塚信夫（松前町ＳＣ）、西川太七（砥部町ＳＣ）、菅生シノブ（愛南町ＳＣ）

受賞おめでとうございます！

令和4年度 安全就業スローガンについて

令和4年11月15日（火）に開催した第2回安全・適正就業対策推進協議会において、今年度の安全就業スローガンを次のとおり決定しました。（敬称略）

最優秀賞

忘れるな ヒヤリで済んだ あの経験

（新居浜市ＳＣ　山本清志）

優秀賞

経験を 過信しすぎは 事故の元

（伊予市ＳＣ　泉一人）

危ないと 思った瞬間手を止めて 安全確認もう一度

（久万高原町ＳＣ　神野利一）

佳作

慢心過信と気の緩み 数秒先に事故が待つ

（今治市ＳＣ　吉田功）

安全は 一人ひとりの 心掛け

（宇和島市ＳＣ　平野博）

小さな危険も見逃さず、目指すは1つ、リスクゼロ

（新居浜市ＳＣ　守谷正治）

余裕持ち 無くそう 確認したつもり

（西条市ＳＣ　髙橋浩世）

あなどるな 慣れた作業に危険が潜む

（松前町ＳＣ　高橋正吾）

「シルバーの日」活動記

今年も各地で清掃奉仕活動などを実施

シルバーで知恵の輪・人の輪・社会の輪

当連合会と県内各センターでは、地域社会にシルバー人材センターの社会的意義をアピールするため、本年度も10月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と定め、多くの会員等の参加を得て清掃奉仕活動など各種活動を展開しました。

REPORT

今治市シルバー人材センター

10月1日(土)に、「ありがとうサービス・夢スタジアム」駐車場周辺のボランティア清掃を行いました。汗がにじむ程の晴天に恵まれ、FC今治のスタッフの方と共に、71人の参加者が、草取りや清掃をしながら、交流を深めました。約1時間の清掃で、腰まであった雑草は、見る見るうちに綺麗になりました。

清掃の後は、スタジアム見学です。現在建設中の、「里山スタジアム」についての説明はとても興味深く、たくさんの人が集まる場所が、またひとつ今治に出来ることにワクワクが止まりません。FC今治の今後益々の活躍に期待しています。

REPORT

宇和島市シルバー人材センター

宇和島市シルバー人材センターでは、「シルバーの日」の普及啓発促進月間に合わせ、10月15日(土)に、長期化するコロナウイルス感染症現場で医療業務に奮闘されている従事者へ向け心より敬意を表し、本年も「市立宇和島病院」の敷地内周辺の除草・清掃ボランティアを行いました。

理事長をはじめとする参加者43名と、宇和島市長さんのサプライズ参加により早朝から和気あいあいと、会員同士が声を掛け合いながら緑地帯や歩道脇のブロックに生えた雑草を抜き取ったり、落ち葉を掃いたりしました。

ボランティア活動の後、役職員13名により、道の駅「きさいや広場」にて、街頭啓発も実施し、その場で剪定作業の相談を受けました。

当日の夕方には、この普及啓発活動がケーブルテレビで放映され、短時間のボランティア活動と街頭啓発では有りましたが、意義ある活動となりました。

REPORT

八幡浜市シルバー人材センター

10月25日(火)午前8時半から会員・役職員や松蔭地区公民館管内の住民の方々など約45名が参加して、ボランティア活動を実施しました。

当日は天気に恵まれてボランティア日和でした。八幡浜市文化会館「ゆめみかん」前広場に集合して山内理事長の開会挨拶のあと、例年と同じ場所である「喜木川沿い道路」、「ゆめみかん・八幡浜市保内庁舎周辺」、「青石寮跡地」、「みなっと周辺」の市内4カ所に分かれて、剪定・草刈り・草引きや清掃等を行いました。

毎年、欠かさずに参加されるベテラン会員、初めて参加される会員など様々ですが、開会式までにあいさつを交わされ、活動が始まると、お互いに声を掛け合いながら、真剣に、慣れた手つきで効率よく作業されましたので、昨年よりも参加者は少し減ったものの、例年どおりの成果を上げることができました。

また、新型コロナウイルスの影響で2年間実施できなかった交流会は、参加者は少なめでしたけれども、会話が弾んで和やかな雰囲気で実施することができました。

当日はどの地区もお天気に恵まれ、ボランティア日和となり、市内全体で108名の会員さんに参加していただきました。

事務局長をはじめ役職員、会員同士の挨拶から始まり、仕事の話や趣味の話、会話に花が咲き、笑顔でお話をしながらも作業の手は止まることなく、心地よい汗を流すことができました。皆さん慣れた手つきで鍬を使い、竹箒で丁寧に掃き、草をかき集める作業は流石です。

これからも会員の皆さんとともに、市民に愛されるシルバーを目指していきたいと思います。

REPORT

西条市シルバー人材センター

今年もシルバー人材センター事業普及啓発促進月間に併せて、市内4カ所で清掃活動を実施しました。

REPORT

四国中央市シルバー人材センター

シルバー普及啓発促進月間である10月に、市内4地区で清掃奉仕活動を実施しました。市内全体で98名の参加があり、たくさんの会員の方が参加されました。

また、10月29日(土)には、3年ぶりとなるシルバーフェスティバルを縮小開催し、市民とセンター会員相互のふれあい交流ができました。晴天に恵まれたオープニングセレモニーでは、市民団体

である「川之江吹奏楽団」の演奏が行われ、またセンターのサークルから「大正琴サークル」の演奏があり、すがすがしいひと時が味わえました。

そして、昨年度に続いて9月26日(月)に普及啓発事業として四国中央医療福祉総合学院を訪問し、看護学科2年生29名の参加を得て実施しました。生徒さんからは、「シルバー人材センターで活動している時が楽しい、生きがいだと言われ、社会活動を通じて、生きがいや楽しみをみつけていることがわかった。私も高齢者になったら、シルバー人材センターで地域に役立つ活動をしながら、楽しく毎日を送りたいと思った。」などの感想をいただき、センターに関しての理解が深まる交流ができたのではないかと実感しました。

REPORT

西予市シルバー人材センター

西予市SCでは、普及啓発促進月間の活動として、毎年10月に、奉仕作業を行っています。本年は、8日(土)に宇和町の特別養護老人ホーム松葉寮、15日(土)には三瓶町の西予市三瓶支所と野村町の野村保健福祉センターの公共施設3ヵ所で、剪定・草引き等の作業を実施しました。

作業には延べ47名が参加し、秋空の下、心地よい汗を流し、会員相互の親睦も深まった一日となりました。

REPORT

東温市シルバー人材センター

令和4年度普及啓発活動として、重信地区では10月4日(火)、「いわがらこども館」の剪定・除草作業に15名、10月24日(月)には見奈良の「忠霊塔」の剪定作業に8名の会員が参加しました。また、川内地区では、10月15日(土)に「ふれあい広場」の草刈作業に17名の会員が参加しました。

それぞれの作業は手際よく進められ、休憩時には会員同士の交流も深まるなど心地よい汗を流しました。いわがらこども館では、通りかかった市民らが足を止め作業の様子を見つめ、「あっという間にきれいになった。」、「気持ち良いね。」と喜んでいただきました。

ボランティア活動を通して、会員一人ひとりが歩く広告塔となりシルバー人材センターをPRすることができました。

REPORT

久万高原町シルバー人材センター

10月15日(土)シルバー人材センター事業普及啓発月間に合わせて、国道33号線歩道及び事務所までの町道の草刈及び草引きを繁忙期の中15名の会員が参加し活動を実施しました。当日は穏やかな天気に恵まれ少ない人数ではありましたが、さすが手慣れたもので予定していた作業を約2時間で仕上げ終了いたしました。

当日は、曇り時々晴れの天候に恵まれ、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、会員・事務局職員併せて31名の参加を得て、軽トラック2台分の除草を実施しました。

JR貨物基地駅「南伊予駅」に隣接した場所にあり、長閑な田園風景の中で多くのホッケー選手が親睦を深め、気持ちよく利用して頂けるような環境づくりに今後も貢献していきたいと思います。

REPORT

松前町シルバー人材センター

10月22日(土)、松前町シルバー会員により松前町国体記念ホッケー公園周辺の除草、清掃を行いました。松前町は、えひめ国体でホッケー競技を開催した後、ホッケーの街づくりを進めています。清掃当日も競技場では子供たちの練習が行われており、子供たちの大きな声や、父兄の声援が聞こえていました。

ホッケー公園の広い敷地の中で、私たちは除草が行き届いていない体育館周辺、駐車場の周辺や公園入口の除草を行いました。

REPORT

砥部町シルバー人材センター

地域に溶けこんだ組織づくりを目指して、子供達や老人会との絆を強め、会員拡大を目的に今年も「普及啓発促進月間事業」として、10月10日(月)に国道沿い歩道の植込みのゴミ収集を会員58名が二手に分かれて実施しました。

また、11月26日(土)には地域交流を深めるための場として地域内の老人会、児童館にも協力を呼びかけ「ふれあい餅つき大会」を実施するとともに、併せて「いも炊き・刃物研ぎ・フリーマーケット」など、子供も老人も喜ぶ「シルバー人材センターフェスタ」を実施しました。

開催にあたり新聞折込によるチラシ、また、町広報に開催記事を掲載し、各家庭に宣伝チラシを折り込み、町内全戸に配付しました。その結果835名の参加、また、町長、県議、町会議長の参加もいただき、賑やかに一日を過ごしました。

この催しを通じて今後の課題として、会員拡大に取り組み、全ての会員が一つになり、努力することを誓ったところです。

REPORT

内子町シルバー人材センター

10月22日(土)、シルバー人材センター事業普及啓発月間に合わせて、センター会員や職員48名が龍王公園の清掃ボランティア作業を行いました。たくさんの人が訪れる公園を綺麗にしようと、会員それぞれが得意なことやできることを見つけて、草刈、剪定、ごみ拾いなどを行い、晴天の中約2時間の作業で遊歩道にもなっている公園スペースを綺麗にしました。

清掃作業終了後には、地域のパン屋さんに来ていただき、お好みのパンを持ち帰っていただいたり、コーヒーやお茶を用意した喫茶コーナーで談笑するなど交流を深めることができました。

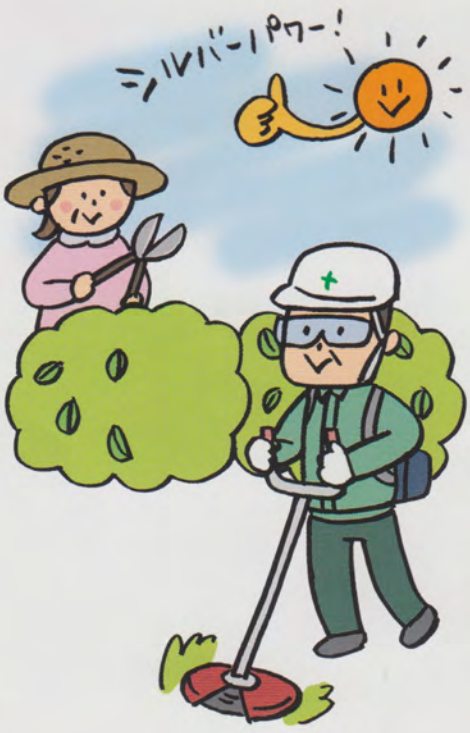
REPORT

鬼北町シルバー人材センター

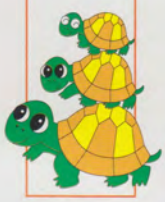
鬼北町シルバー人材センターも発足して3年目に入り、会員の皆さんも日ごろ仕事で草刈りや剪定を主に作業をしていただいています。10月22日(土)に社会福祉協議会の敷地内の剪定ボランティアを行いましたが、作業も慣れたもので、次々に枝を落とし良い枝ぶりになり、また垣根もきれいにそろいとても素晴らしい仕上がりになりました。

福祉施設の剪定作業も3回目となり、施設の方も作業をしてもらうのを楽しみにされていて、作業の翌日は皆さんにお礼の言葉をいただきました。また、その日は地元のテレビ局にも取材に来ていただき、作業の様子やシルバー人材センターの会員の募集も一緒に伝えていただきました。

今後もこのような活動を通じて地元に奉仕をし、会員の募集などもしていきたいと思います。



センターだより



REPORT

松山市シルバー人材センター

当センターは、入会促進と高齢者等へのデジタルディバイド解消を図るため、総務省委託事業「利用者向け デジタル活用支援推進事業 地域連携型」を実施しております。

センターの普及啓発月間である10月には、「垣生公民館」にて、当地域にお住まいの高齢者10名にお集まりいただき、センターの事業活動ＰＲとコミュニケーションアプリ「ＬＩＮＥ」の使い方をテーマに講習会を実施いたしました。センターで働く事の楽しさをお伝えし、「ＬＩＮＥ」の使い方の何か一つでも操作を覚えて帰って頂くことで、自身の生活に活力と利便性をもたらす事を理解して頂くことを目標に、講師は、当センターのＩＴ関連の知識が豊富で、コミュニケーション能力の高い男性会員が務めました。

講師が同じ高齢者ということもあり、親しみやすく、受講者の方も積極的に質問していました。

改めてデジタル支援の必要性と受講者に寄り添いながら講習会を実施できることは、センターの登録会員だからこその強みだと感じました。

受講者も「分からないことが理解できてよかった」「センターの仕事に興味がわいた。」など、非常に好評を得た講習会でした。

今後も地域高齢者に対して、デジタルディバイドの解消とセンター事業の普及啓発の場として、講習会を開催していきたいと思います。

REPORT

新居浜市シルバー人材センター

「住鉄ふれあい倶楽部」は、旧別子鉱山鉄道(下部鉄道)跡地に整備されている自転車歩行者専用道路沿いの企業や自治会及び新居浜市などで組織され、官民一体となって緑化ボランティア活動に協力し、地域環境整備を定着化させることを目的に結成されています。

新居浜市シルバー人材センターにおきましても、「みんなの力で創る〝花と緑の街新居浜〟」を基本方針とする住鉄ふれあい倶楽部の趣旨に賛同し、平成24年に加入し、その後「住鉄ふれあい倶楽部実行委員会」を立ち上げ、毎年延べ１００名の会員さんが、シルバー事務所の東側約１００メートルの区間において、季節にあった草花を育成し、自転車歩行者道路を通行する皆さんの心を癒すと共に、道路景観の向上を図り、積極的に緑化ボランティア活動を行っております。

今後とも、地域の方々に四季折々の花を楽しんで頂けるよう、地域の住環境の整備にも寄与していきたいと思います。

REPORT

愛南町シルバー人材センター

〔アレンジフラワー講座〕

12月20日(火)に愛南町御荘老人福祉センター2階において日本フラワーデザイナー協会講師佐々木明美さんを迎えてアレンジフラワー講座を開催しました。当センターの会員女性14名が参加して、クリスマス用アレンジフラワーを楽しみ、日ごろの疲れを飛ばして、今後の糧としました。

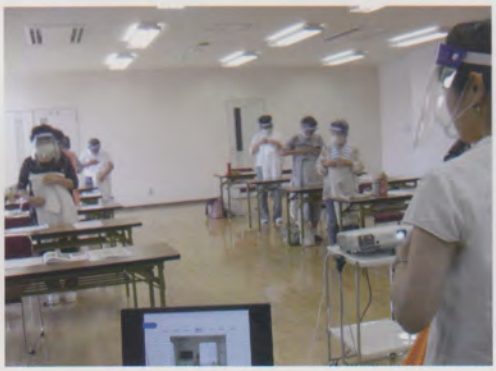
〔全国女性代表者会議に参加〕

11月24、25日に東京で開催された『女性代表者会議』に当センターの弘瀬理事長が出席しました。男女共同参画と言われる中で、女性会員の割合は3割にも満たず、女性の人数も活動も十分でないということで、研修会や意見交換会等女性のネットワークづくりとして設置されました。

今回全国から45名の出席があり、会員拡大については、年金支給日には銀行前でチラシ配布やイベントを多数行うこと、行政の広報に載せる等々、大変貴重な時間をいただきました。また、古いセンターのイメージを払拭して、新しいタイプの楽しいセンターにと、皆さん頑張っていました。我々もできることは貪欲にチャレンジしていきます。是非とも、全県下の女性代表者が増えることを願います。

高齢者向けセミナーの開催について

今年度は、宇和島市で「整理収納セミナー」、西条市と伊方町の2か所で「スマホ講習会」を開催しました。身近に役立つセミナーであり、多くの方々に御好評をいただくとともに、シルバー人材センターのことを知っていただきました。

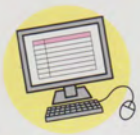


技能講習会の開催について

各センターからの開催要望のとおり、県内10センターにおいて6種類、延べ14回の技能講習会を開催しました。講習会では、まだ会員になられていない方だけでなく、職種転換を希望される会員や昨年度1年間就業していない会員など幅広く受講していただきました。今後のご活躍をご期待いたします。

令和4年度 高齢者活躍人材確保育成事業 技能講習 一覧表

講習名	実施市町	講習日数	実施日
刈払機取扱講習会	松山市	1	6/21
剪定基礎講習会	東温市	3	6/22・23・24
剪定基礎講習会	伊予市	3	7/19・20・21
調理補助講習会	砥部町	1	7/25
空き家管理業務講習会	松山市	3	8/2・3・4
剪定基礎講習会	大洲市	3	9/27・28・29
送迎業務講習会	今治市	1	10/4
剪定基礎講習会	西予市	3	10/19・20・21
刈払機取扱講習会	今治市	1	10/28
剪定基礎講習会	西条市	3	11/9・10・11
児童クラブ補助員養成講習会	今治市	2	11/21・22
剪定基礎講習会	四国中央市	3	11/28・29・30
児童クラブ補助員養成講習会	西条市	2	12/12・13
児童クラブ補助員養成講習会	四国中央市	2	1/30・31



令和4年度 安全就業推進大会を開催

シルバー人材センター会員の安全就業意識の高揚等を図るため、令和4年度安全就業推進大会を令和5年2月22日(水)に東京第一ホテル松山において、県下18センターの会員、役員多数の参加のもと3年ぶりに開催しました。

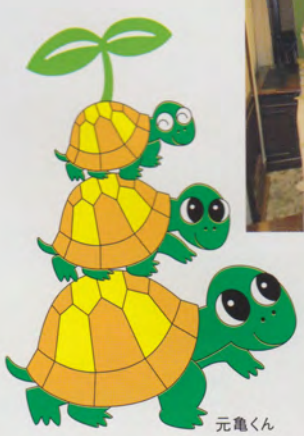
大会は、大塚岩男連合会理事長のあいさつののち、令和3年度安全就業優良シルバー人材センター並びに個人表彰、令和4年度安全就業スローガン表彰が行われました。

続いて、愛媛県中予保健所長の三木優子氏から「すこやかに生きる　フレイル予防を中心として」と題して、口のフレイル予防を中心に実演を交えながら講演していただきました。

新居浜市SCの「シルバーあぐり」が県の令和4年度資源循環優良モデル優良リサイクル製品に

この度、新居浜市シルバー人材センターが製造・販売する剪定屑をチップ化し、自然発酵させた堆肥「シルバーあぐり」が愛媛県資源循環優良リサイクル製品に認定されました。

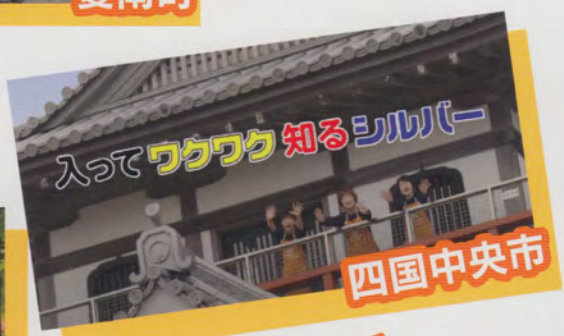
プレゼンテーションを行い、審査を経て令和5年1月24日(火)に愛媛県庁知事会議室において中村知事より佐々木理事長に認定書が交付されました。今後は、県が認定した優良リサイクル製品であることをアピールしながら資源循環の取組みを強化し、普及宣伝に努めていきます。



元亀くん

センター会員出演のテレビCM
「入ってワクワク知るシルバー」

この3年間、毎年センターの元気な会員さん、楽しい会員さんに御出演していただいてテレビCMを作成し、放映しました。これらのCMを見て、多くの方々が入会してくださいました。



会員の広場

新居浜市SC

俳句

◆繁栄の鉱山知る磴に散紅葉
◆地の底の
ぬくもり集む福寿草
幸美

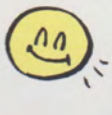
川柳

◆目は近く耳とおくなり
やっぱりね
◆シルバーに
定年ないよ自己申告
藤原ミチノ

詩

「年寄りのひとりごと」
上田年乃

忘れること一番
（まあいいかの毎日）
忘れ物出てきてやれやれ
やれ嬉し
それもつかの間の喜び
その日の内にまた忘れ
食べることお金の計算
まだ出来る
自分なりにまあいいか
いいか
気長ぁ〜く
行きましょう〜か



伊予市SC

川柳

◆手が震え 目薬点すも 的を得ず
長田義幸

詩

「霧」
長田義幸

谷神山公園
乳白色霧涌
我寒々首竦
老桜春近喜

宇和島SC

俳句

◆一命を屠る 夜更の 卵酒
清家 弘

川柳

◆ルビ振るか 迷う 少年への手紙
清家 弘

賛助会員のみなさん　五十音順　令和5年2月現在

○いよぎんビジネスサービス株式会社様
○いよぎんリース株式会社様
○いよぎん保証株式会社様
○コクヨ山陽四国販売株式会社 松山オフィス様
○セキ株式会社様
○リコージャパン株式会社愛媛支社様
○伊予トータルサービス株式会社様
○愛媛信用金庫様
○愛媛綜合警備保障株式会社様
○株式会社あいテレビ様
○株式会社いよぎんコンピュータサービス様
○株式会社アートアイデア様
○株式会社アド・センター様
○株式会社キャップ様
○株式会社キョウエイアドインターナショナル様
○株式会社ク・ロウル様
○株式会社コピーセンター様
○株式会社テレビ愛媛様
○株式会社ハラプレックス様
○株式会社伊予銀行様
○株式会社伊予鉄グループ様
○株式会社愛媛朝日テレビ様
○株式会社愛媛新聞社様
○全労済愛媛推進本部様
○南海放送サービス株式会社様
○南海放送株式会社様
○三井住友海上火災保険株式会社 代理店ｍｉｘ．様

ご協力ありがとうございます。

編集後記

ちょっと固いお話をします。シルバー人材センターを担当している役所はどこだかご存じでしょうか。国は厚生労働省ですが、県は経済労働部の産業人材課です。市町になると、産業課だったり、高齢者福祉課だったり、地域振興の担当課であったりといろいろになります。

というのもシルバー人材センターは、会員に「働く」場所を紹介しているだけでなく、働くことで高年齢者の方が仲間を作ったり「生きがい」を実感したり、過疎化が進む地方の「地域活性化」の担い手として活躍するなど、市町の中でも様々な役割を果たしているためです。

地域で役立っている団体なので、多くのセンターへは国や市町から補助金が交付されていますが、その代わりに指導や監督も厳しくなります。俗にいう「金を出すけど、口も出す」ということです。

シルバーは、東京都江戸川区の高齢者事業団で「生きがい就業」としてスタートし、徐々に全国的に広がっていきました。最近では、派遣の仕事の割合が高くなってきたこともあって「同一労働同一賃金」や「インボイス制度」など「労働」や「対価」の面での規制が強くなっており、次は、国が「契約方法の見直し」をしようとしています。

けれども、シルバーは、世の中の役に立ちたい高齢者が、自分たちのペースで働く「有償ボランティア」に近い団体だったはずです。できれば、あまりがんじがらめにせずに、本来の「自主・自立」という理念を尊重していただきたい、シルバーの良さを残してほしいなあと思っている今日この頃です。

発行／公益社団法人愛媛県シルバー人材センター連合会　住所／〒790-0001 松山市一番町1丁目14番地の10　TEL(089)915-1420　FAX(089)915-1421

編集
発行

公益社団法人 愛媛県シルバー人材センター連合会

〒790-0001 松山市一番町1丁目14番地の10 井手ビル3階
TEL (089)915-1420　FAX (089)915-1421　Eメール ehimeken@sjc.ne.jp
https://www.ehime-silver.or.jp/